

## 歩掛参考見積募集要領

次のとおり歩掛参考見積を募集します。

令和元年7月8日

独立行政法人水資源機構  
千葉用水総合管理所  
所長 宮下 武士

### 1. 目的

この歩掛参考見積の募集は、当管理所が予定している業務の積算の参考とするための作業歩掛を募集するものです。

### 2. 参考見積書提出の資格

- (1) 水資源機構における平成 31・32 年度一般競争（指名競争）参加資格業者の認定を受けていることとします。
- (2) 営業に関し法律上必要とされる資格を有していることとします。
- (3) 当機構から「工事請負契約に係る指名停止等の措置要領」（平成6年5月31日付け6経契第443号）に基づき、利根川水系及び荒川水系関連区域において指名停止を受けていないこととします。

### 3. 参考見積書の提出等

- (1) 参考見積書は作業項目毎に必要な技術者、資機材の人数等を記載して提出して下さい。  
なお、参考見積書の様式は問いません。
- (2) 提出期間 令和元年7月17日（水）から令和元年7月23日（火）まで  
持参する場合は、上記期間の土曜日、日曜日及び祝日を除く毎日、午前9時から午後5時まで
- (3) 提出場所  
独立行政法人水資源機構 千葉用水総合管理所 所長 宮下 武士 宛  
【担当】管理課 審査係 松橋 輝明  
〒276-0028 千葉県八千代市村上3139  
TEL047-483-0722 FAX047-483-0709
- (4) 提出方法  
書面は持参、郵送又はFAX（社印があること）により提出するものとします。

### 4. 参考見積内容

#### (1) 基本条件

- ① 本歩掛参考見積は、サイホン（鋼管）において、内面調査、施設の健全性の検討に必要な技術者の員数及び日当り標準作業量等を見積もりするものとします。
- ② 機械器具損料等については、直接人件費の合計に対する割合（率）により、計上するものとします。
- ③ 見積もりする員数は、単位数量当たりとし、対象箇所数、対象延長等の数量の増減に伴

う補正方法を記載するものとします。

【例】 単位数量当たり歩掛に対する補正： $\text{〇〇} \times n + \Delta\Delta$  (n:対象数量)

- ④ 調査のための水路を空水にする排水については、見積りに含めないものとします。
- ⑤ 調査は管内を空水で実施しますが、若干の残水があるという前提で見積りを作成して下さい。なお、想定される水位は、10cm～15cm程度で、調査に支障となる流速は無いものとします(ただし、A号サイホンを除く)。
- ⑥ 調査に必要な機材・照明等は、見積りに含めるものとする。
- ⑦ 参考見積書の有効期限は令和2年3月31日までとします。
- ⑧ 参考見積書の提出年月日を記入するものとします。

## (2) 施設概要

- ① A号サイホン (延長：全長約 530m)
  - (1) 区間：NO. 33+90.000～NO. 39+20.000
  - (2) 管種・管径：鋼管  $\phi$  2,800mm
  - (3) 水路勾配：調査対象箇所 1/4.132、1/2.732
  - (4) 調査対象箇所：2箇所(上流側：1箇所、下流側：1箇所)
  - (5) 資機材の搬入口：1m×1mの入孔×2箇所
- ② B号サイホン (延長：全長約 48m)
  - (1) 区間：NO. 64+53.500～NO. 65+2.000
  - (2) 管種・管径：鋼管  $\phi$  2,800mm
  - (3) 水路勾配：調査対象箇所 1/2.050、1/36.000、1/2.006
  - (4) 調査対象箇所：8箇所
  - (5) 機材の搬入口：1m×1mの入孔×2箇所
- ③ C号サイホン (延長：全長約 106m)
  - (1) 区間：NO. 79+66.000～NO. 80+72.000
  - (2) 管種・管径：鋼管  $\phi$  2,800mm
  - (3) 水路勾配：調査対象箇所 1/4.098、LEVEL
  - (4) 調査対象箇所：19箇所
  - (5) 機材の搬入口：1m×1mの入孔×1箇所
- ④ D号サイホン (延長：全長約 112m)
  - (1) 区間：NO. 157+43.870～NO. 158+56.000
  - (2) 管種・管径：鋼管  $\phi$  2,800mm
  - (3) 水路勾配：調査対象箇所 1/2.3255、LEVEL、1/2.3250
  - (4) 調査対象箇所：21箇所
  - (5) 機材の搬入口：1m×1mの入孔×2箇所
- ⑤ E号サイホン (延長：全長約 91m)
  - (1) 区間：NO. 310+97.000～NO. 311+78.000
  - (2) 管種・管径：鋼管  $\phi$  2,800mm
  - (3) 水路勾配：調査対象箇所 1/2.1877、LEVEL、1/2.3100
  - (4) 調査対象箇所：7箇所
  - (5) 機材の搬入口：1m×1mの入孔×1箇所

- ⑥ F号サイホン (延長：全長約 190m)
- (1) 区間：NO. 315+7.500～NO. 316+88.500
  - (2) 管種・管径：鋼管 SP φ2,800mm
  - (3) 水路勾配：調査対象箇所 1/2.5779、1/14.8367、1/7.8554
  - (4) 調査対象箇所：14箇所
  - (5) 機材の搬入口：1m×1mの入孔×1箇所、径φ800mm×1箇所
- ⑦ G号サイホン (延長：全長約 96m)
- (1) 区間：NO. 345+21.000～NO. 346+17.000
  - (2) 管種・管径：鋼管 φ2,800mm
  - (3) 水路勾配：調査対象箇所 1/4.1135、1/163.9344、1/1.8079
  - (4) 調査対象箇所：17箇所
  - (5) 機材の搬入口：1m×1mの入孔×1箇所

(3) 作業項目、作業内容

① 下記A～G号サイホンの調査にかかる計画・準備

作業項目	作業内容	作業数量
計画・準備	(1) 計画作成及び調査準備を行う。	1業務 当たり

② 管内面調査：各A～G号サイホン (鋼管)

作業項目	作業内容	作業数量
現地踏査	調査箇所の位置及び周辺状況把握を目的に現地踏査を行う。なお、トンネルとサイホンの移行部分の状況調査 (漏水の有無等) を含む。	1式 当たり
管内面調査	(1) 塗膜全体の面積に対する塗装欠陥 (ふくれ、割れ) を含む錆の発生面積の割合を目視により観察する。 (2) 管内面に発生している析出物、錆汁、漏水等を観察し、腐食状況をデジタルカメラで撮影、腐食箇所を図面に記録する。なお、腐食範囲について、1m <sup>2</sup> 当たりの腐食面積を算定する。 ※D・E号サイホンについては、LEVEL 箇所で蛇行・沈下が発生していないか調査する。	1式 当たり
たわみ量調査	管路内で縦横比をメジャー等で計測し、たわみ量を算出する。(計測箇所：各管の中央部付近において1箇所)	1箇所 当たり
塗膜厚測定	電磁式膜厚計を使用し、塗膜厚の測定を行う。(計測箇所：管の天地左右について測定するものとし、測定箇所でそれぞれ3～5点の膜厚を測定)	1箇所 当たり
管厚測定	超音波厚み計を使用し、管厚の測定を行う。(計測箇所：管の天地左右について測定するものとし、測定箇所でそれぞれ3～5点の膜厚を測定)	1箇所 当たり
調査結果取りまとめ	調査結果に基づき、劣化要因の推定、施設保全の視点を踏まえ想定される劣化過程の評価を行い、取りまとめる。	1式 当たり

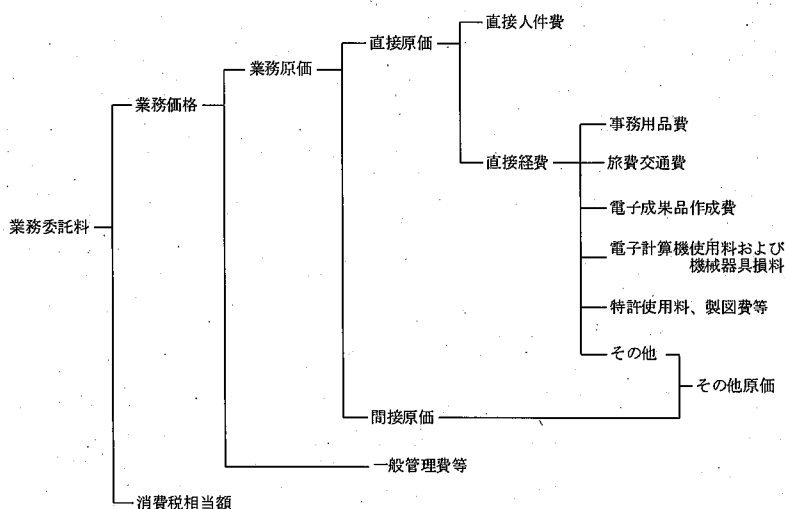
- ※1 歩掛算出にあたり、補正等がある場合は基準歩掛及び補正等を明記するものとする。
- ※2 上記以外にも補正等が必要な場合については、作業項目毎に基準歩掛及び補正等を明記するものとする。

(4) 業務費の構成と歩掛見積徴取範囲

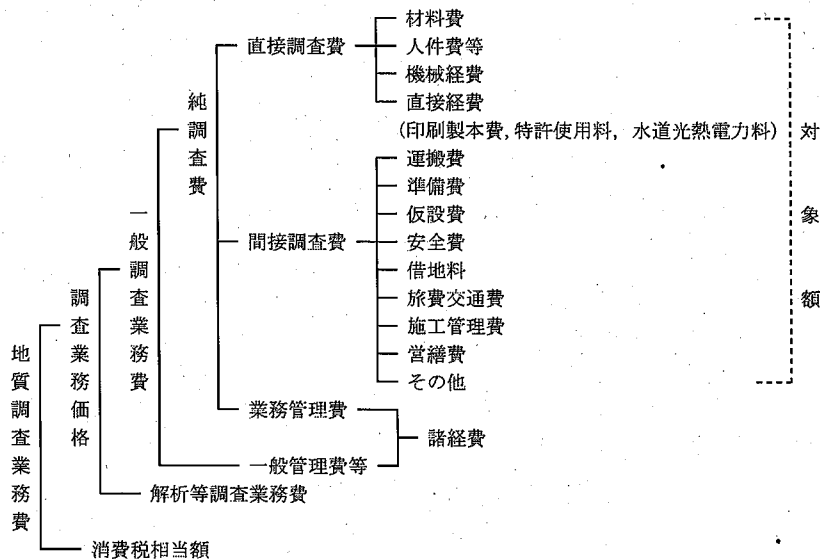
- ① 本歩掛参考見積を適用する業務費の構成は、上記(3)①の「計画・準備」及び②の「調査結果とりまとめ」は、当機構が別に制定する「積算基準及び積算資料(調査等編)」(以下「基準書」という。)の「第3編 設計業務等」に準拠し、それ以外は、基準書の「第2編 地質調査業務」に準拠するものとしします。
- ② 歩掛参考見積の徴取範囲は基準書で定義されている直接原価のうち、上記(3)「業務作業項目、作業内容及び作業数量」を実施する為に必要な技術者、資機材の人数等を徴取します。

(参考) 積算体系

- ① 設計業務等積算基準を適用する場合は、下記の構成によるものとする。



- ② 地質調査積算基準を適用する場合は、以下の構成によるものとする。



(5) 技術者の職種と定義

国土交通省が公表している「平成 31 年度設計業務委託等技術者単価」における「技術者の職種区分定義」によるものとします。

5. 募集要領に対する質問

この募集要領に対する質問がある場合においては、次に従い、書面（様式は自由）により提出してください。

(1) 提出期間：令和元年7月8日（月）から令和元年7月16日（火）まで

持参する場合は、上記期間の土曜日及び日曜日を除く毎日、午前9時から午後5時まで

(2) 提出場所：3. (3)に同じ。

(3) 提出方法：3. (4)に同じ。

6. 質問に対する回答

質問に対する回答書は、次のとおり閲覧に供します。

(1) 閲覧期間：令和元年7月17日（水）から令和元年7月23日（火）まで

(2) 閲覧方法：ホームページに掲載します。

7. 参考見積書作成及び提出に要する費用

参考見積提出者の負担とします。

8. 貸与資料等

本作業内容を実施するための貸与資料等は以下の通りとします。

(1) 房総導水路施設機能改善計画策定業務報告書（平成 30 年 1 月）

(2) 房総導水路施設機能調査業務報告書（平成 31 年 1 月）

(3) その他、担当職員が必要と認めた資料

9. ヒアリング

提出していただいた参考見積書についてヒアリングを実施することがあります。

10. その他

この歩掛参考見積を御提出頂いたことで業務等の指名、若しくは競争参加資格をお約束するものではありません。

(別紙)

見積書作成例

① 計画・準備 (A号サイホン～G号サイホン)

見積項目	単位	歩掛					員数 補正式	機械 経費	材料費	必要作業日数
		技師長	主任技師	技師A	技師B	技師C				
計画・準備	業務									

② 管内面調査 (A号サイホン)

見積項目	数量	歩掛					員数 補正式	機械 経費	材料費	必要作業日数
		技師長	主任技師	技師A	技師B	技師C				
現地踏査	1式									
管内面調査	1式									
たわみ量調査	2箇所									
塗膜厚測定	2箇所									
管厚測定	2箇所									
調査結果 とりまとめ	1式									

③ 管内面調査 (B号サイホン)

見積項目	数量	歩掛					員数 補正式	機械 経費	材料費	必要作業日数
		技師長	主任技師	技師A	技師B	技師C				
現地踏査	1式									
管内面調査	1式									
たわみ量調査	8箇所									
塗膜厚測定	8箇所									
管厚測定	8箇所									
調査結果 とりまとめ	1式									

④ 管内面調査 (C号サイホン)

見積項目	数量	歩掛					員数 補正式	機械 経費	材料費	必要作業日数
		技師長	主任技師	技師A	技師B	技師C				
現地踏査	1式									
管内面調査	1式									
たわみ量調査	19箇所									
塗膜厚測定	19箇所									
管厚測定	19箇所									
調査結果 とりまとめ	1式									

⑤ 管内面調査 (D号サイホン)

見積項目	数量	歩掛						員数 補正式	機械 経費	材料費	必要作業日数
		技師長	主任技師	技師A	技師B	技師C	技術員				
現地踏査	1式										
管内面調査 (蛇行・沈下含む)	1式										
たわみ量調査	21箇所										
塗膜厚測定	21箇所										
管厚測定	21箇所										
調査結果 とりまとめ	1式										

⑥ 管内面調査 (E号サイホン)

見積項目	数量	歩掛						員数 補正式	機械 経費	材料費	必要作業日数
		技師長	主任技師	技師A	技師B	技師C	技術員				
現地踏査	1式										
管内面調査 (蛇行・沈下含む)	1式										
たわみ量調査	7箇所										
塗膜厚測定	7箇所										
管厚測定	7箇所										
調査結果 とりまとめ	1式										

⑦ 管内面調査 (F号サイホン)

見積項目	数量	歩掛						員数 補正式	機械 経費	材料費	必要作業日数
		技師長	主任技師	技師A	技師B	技師C	技術員				
現地踏査	1式										
管内面調査	1式										
たわみ量調査	14箇所										
塗膜厚測定	14箇所										
管厚測定	14箇所										
調査結果 とりまとめ	1式										

⑧ 管内面調査 (G号サイホン)

見積項目	数量	歩掛						員数 補正式	機械 経費	材料費	必要作業日数
		技師長	主任技師	技師A	技師B	技師C	技術員				
現地踏査	1式										
管内面調査	1式										
たわみ量調査	17箇所										
塗膜厚測定	17箇所										
管厚測定	17箇所										
調査結果 とりまとめ	1式										